正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

10月号 2025



「２年間にもおよぶ紛争に終止符を打つ、重要な転換点が訪れました」

イスラエルとハマスの間での停戦合意を受けて

スポリアリッチICRC総裁が声明を発表した３日後、

中立な仲介者として、人質の解放と被拘束者の釈放に伴う

身柄引き渡しに関与しました。

遺体の移送も含めて、安全かつ尊厳を保った形でオペレーションを実施しました。

解放・釈放オペレーション：待ちわびる家族の元へ🍀

紛争の現場から



母国スーダンから避難を余儀なくされ、家族と引き離されたアマルさん。
ケニアにある避難キャンプにたどり着いてから17年、家族を探し続けてきました。
大切な家族を再び結ぶため、私たちは現地の赤十字パートナーと連携して、
心のライフラインの再建にも力を尽くしています。

希望の光を灯し続けるために🤗



私たちが支援するリハビリ事業を通じて、歩くことも困難な状況から
身の回りのことが一人でできるまでに回復しました。
スポーツを通じた治療や、自立の促進、そして社会性の向上を図るため、
地域のコミュニティーと協力して支援を実施しています。

子どもたちの人生に変革を

日本人に知ってもらいたい！



ICRCは人道支援組織として、
助けを必要としているあらゆる人びとに手を差し伸べます。
７原則のひとつである「中立」は、
どちらの側にも付かないことで、双方から信頼を得る手段です。
160年以上にわたり貫いてきたこの原則を前面に掲げ、対話を重ねることで、
最も弱い立場に置かれている人たちに手を差し伸べることができるのです。

人びとを最大限支援できる最も現実的なアプローチ



広島で開催された国際人道法啓発プログラムである「レイドクロス」は、

ロールプレイ形式で国際人道法について学ぶための学習ツールです。

「戦争にも守るべきルールがある」という視点を学ぶことで、

平時から国際人道法の重要性や有用性を理解することができます。

体験から学ぶ：具体的なシナリオはこちらから👀✨

世界のトレンド



世界で最も古い国際人道支援組織として、

国際赤十字・赤新月運動（通称：赤十字運動）は７つの原則を掲げて、

世界各地の人びとに寄り添っています。

それらは、人道、中立、公平、独立、単一、世界性、奉仕。

この７原則を設けてから、今年で60年が経ちました。

各テーマに関するｘポストを探してみよう🔍

駐日代表部だより



11月16日(日)、長崎平和ハーフマラソン大会の開催に合わせて、

PEACE Cinema Talk〜「風に立つライオン」と平和への対話〜を開催します🦁

トークセッションでは、同映画のプロデューサーで、

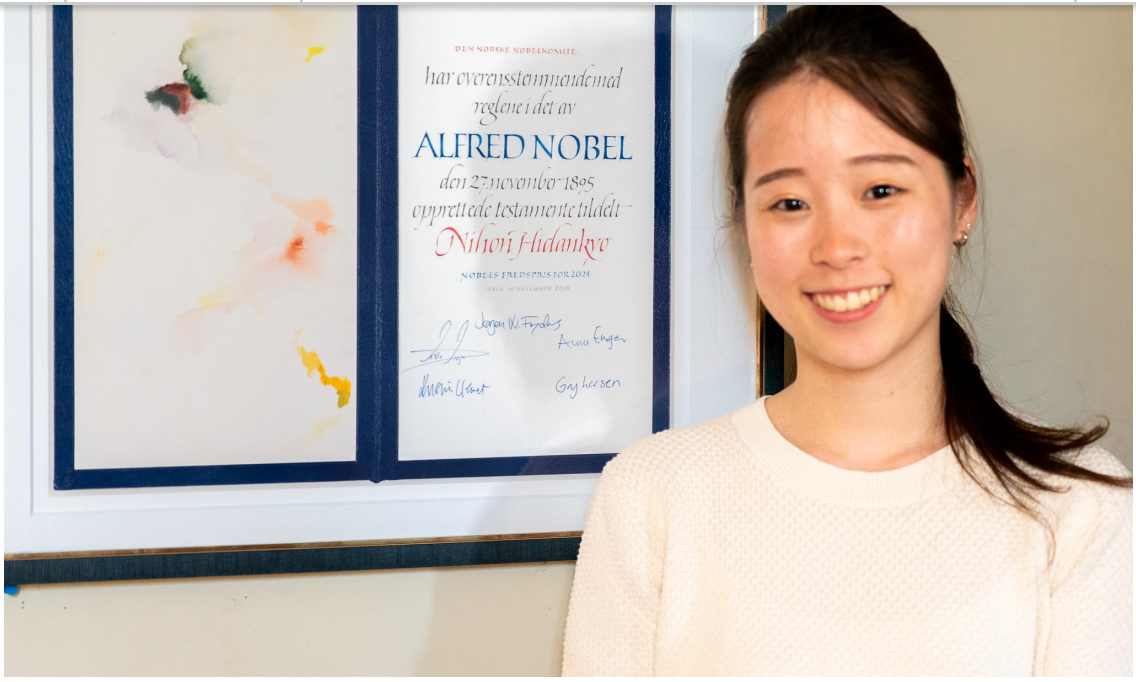
福島で子どもたちと映画制作に取り組んでいる前田茂司さん、

マラソン選手の有森裕子さん他にお話を伺います。

概要、お申し込みは以下のリンクからチェック🔍

さだまさしさんの楽曲と小説を映画化した「風に立つライオン」

事前申し込みはこちらから！



2025年上半期に広報インターンとして活躍してくれた鈴木志歩さん。

日々の業務を通じて実感した「中立」の意義とそれを貫く難しさをはじめ、

印象的だった被団協田中さんへのインタビューなどについて語っています📝

田中さんのインタビュー動画も合わせてご覧ください！

インターンを通じて学んだこと✍️

考えさせられる「信頼と対話」のメッセージ

その他のニュースはこちら

E-newsletter のアーカイブはこちら

© 2025 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS


INTUIT
mailchimp